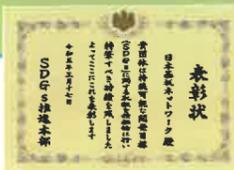


障がいを持った方々の自立支援と社会参画にご協力ください！

パソコン等小型家電の解体分別による利益はすべて、そこで働くマイスターたちの工賃にあてられ、自立支援へと変わります。たとえ障がいを持っていても、彼らのたぐいまれな集中力と解体の技術によって、地域社会に貢献できるということを私たちは証明し続けます。ぜひ、ご理解ご協力をお願いいたします。

環境保全と資源循環型社会の構築にご協力ください！

現在、世界で環境問題が深刻となっています。小型家電等の不当な廃棄により、発展途上国のきれいな自然が壊されています。その中でも日本は、トップクラスの廃棄物排出国ということを実感しなければなりません。また、国内でそれらを再資源化できれば、資源に乏しい日本においても、多くのレアメタルを再利用することができるのです。ぜひ、環境保全と資源循環型社会の構築にご協力ください！



【ジャパンSDGsアワード】

外務省内のSDGs推進本部が主催するジャパンSDGsアワードで、日本基板ネットワークは『特別賞』を受賞いたしました。令和5年3月17日、総理官邸で行われた授賞式で表彰いただきました。



【新潟県SDGsアワード】

新潟日報と新潟県などが組織する、一般社団法人地域創生プラットフォームSDGsにいがた主催の新潟県SDGsアワードでも、日本基板ネットワークは『環境部門優秀賞』を受賞いたしました。令和5年3月21日、授賞式で表彰いただきました。



☆ 詳しくは、日本基板ネットワークの公式ホームページもご覧ください。 <https://jpcb-net.com>

＼ご不要になったパソコン、お譲りください！／



「第6回 ジャパンSDGsアワード『特別賞』」
「第3回 新潟県SDGsアワード『環境部門優秀賞』」を受賞いたしました！



日本基板ネットワーク

※2024年7月現在



近畿地方南部で唯一の加盟団体です！※

NPO法人 若者応援センター ヨリドコ



＜お問い合わせ＞
〒647-0018
和歌山県新宮市仲之町3-390-3
0735-30-0152 (平日9:00~17:00)
<https://yoridoko.org>



＼ご不要になったパソコン、お譲りください！／

私たち日本基板ネットワークでは、全国の障がい者就労支援施設で、不要になったパソコン等の小型家電を引き取り、「マイスター」（障がいを持ちながら働く人たちのことを、私たちはこう呼んでいます）が解体・分別・リサイクルを行うことで、鉄やアルミ等の金属ほか、基板から回収できる金・銀・銅・レアメタル等の貴重な資源の再資源化に取り組んでいます。



当活動に関しては、「ご寄付」という形で回収させていただいております。回収費用や処理費用等を別途いただくことはありませんので※、ご不要になったパソコン等をお持ちの方は、ぜひご協力ください！
※一部地域によって費用がかかる場合がございます。詳しくはお近くの施設にご相談ください。

回収対象品 ※下記は、回収対象品の一例です。地域によって回収対象が異なりますので、担当施設にご確認ください。

●コンピュータ関係

PC本体、ルーター、サーバー、HDD・SDD、液晶モニター、ケーブル類、etc.



●ゲーム機・携帯

ニンテンドーDS、PSP、スマートフォン、etc.



●会社・工場等

銅、金型、端材、超硬チップ・プレート、ハイス、自動車触媒、空調ラジエーター、エアコン配管、PS板（PSアルミ版）、etc.



※家電4品目（テレビ・エアコン・洗濯機・冷蔵庫）、スピーカー、除湿機、掃除機などの白物家電は取り扱いできません。また、CRTモニター（ブラウン管）も取り扱いできません。
※なお、私たちはごみ処理業を行えませんので、解体して価値のあるものでなければお断りさせていただく場合があります。ご理解いただけますようお願い申し上げます。
（一部地域によっては産廃許可をもっている施設もありますので、まずはご相談ください）

情報漏洩対策について

日本基板ネットワークでは、HDDなどの記憶媒体装置は“物理破壊”を基本としています。ソフトウェア的にデータを破壊（ディスク容量全てにデータを書き込む等）しただけでは復元可能な場合もありますが、物理破壊をすることで、データの修復がより困難になり、データ消去作業が確実に行われたことが目視で分かります。現在、絶対に漏らせない機密情報を扱う場合などでは、物理破壊が推奨されています。

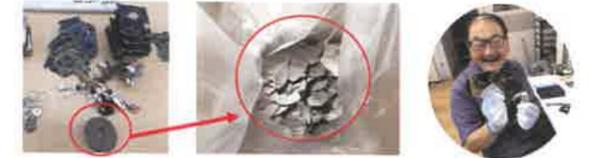
●アルミ製プラッターの処理方法

HDDは全て解体分別し、プラッターは直接工具にて傷つけ（物理破壊）を施します。その後、最終処理として炉で溶かし、作業終了後は『溶解証明書』を発行していただいております。



●ガラス製プラッターの処理方法

HDDは全て解体分別し、プラッターは破碎（物理破壊）を施します。その後、最終処理として機械で粉々に破碎し、作業終了後は『破碎証明書』を発行していただいております。



※『溶解証明書』『破碎証明書』は日本基板ネットワーク宛に発行されるもので、お客様個々にお出しすることはできません。
※記憶媒体装置の物理破壊を行った証明書は各施設より発行できますのでご相談ください。一部地域では有料の場合があります。

出張解体回収サービス

絶対に漏らせない情報が詰まった情報端末を持ち出す前に、その場でHDD等の記憶媒体装置を抜き出し、お客様の目の前で物理破壊してから回収する“出張解体回収サービス”も行っております。どんな証明書よりも、物理破壊したところを目視で確認していただくことが一番確実な情報漏洩対策となりますので、ぜひ、ご用命ください！

※地域によって対応できる施設が異なり、また有料サービスとなる場合があります。担当施設にご相談ください。
※現場ではHDDの物理破壊作業のみになります。現場でパソコン全てを解体するわけではありません。



マイスターたちにとって、施設外で行う作業体験はとても重要なものです。自分たちのやっている仕事がかの役にたつこと、社会的に意義のあることが確認できるとともに、仕事に対する責任感や社会性を養い、対人コミュニケーションの訓練にもなるからです。



書類発行サービス

必要に応じて、誓約書や受領書、その他各種書類の発行も行っております。ご指定の書類やフォーマットなどございましたら、担当の施設までご相談ください。

※地域によって手数料がかかる場合がございます。
※施設によって書類フォーマットが異なります。ご了承ください。

